41 01 08 02 02 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月13日（木）

事務事業	生活道路整備事業	担当課	道路河川課	担当係	生活道路整備係	管理番号	4139
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	道路法、深谷市生活道路整備の事業実施に関する要綱				
中項目	200002 交通アクセスの便利なまちづくり						
小項目	200001 道路・交通環境整備の推進						

事業概要	生活道路の整備により快適かつ安全な環境を実現するため、自治会からの要望に基づき狭隘道路や未舗装、未改良区間の整備を行う。
目的 ※何のために	緊急時や災害時の緊急車両の通行を可能にするとともに、住民の通行時の安全性を確保するため。
対象 ※誰・何を対象に	狭隘道路や未舗装、未改良区間の道路。
手段 ※どのように	自治会からの要望や優先順位を踏まえ、事業効果や必要性等の評価結果に基づき、地域バランスにも配慮し事業箇所を選定する。
成果 ※何を求めるか	良好な居住環境の整備が図れる。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	02	道路橋りょう費	02	道路新設改良費	道路新設改良事業	400,896,200
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 生活道路整備要望の調整業務	・
・ 生活道路の整備	・
・ 関係機関との調整業務	・
・ 測量設計、物件調査業務	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			・工事の実施・測量、調査、設計 ほか	・工事の実施・測量、調査、設計 ほか	・工事の実施・測量、調査、設計 ほか	・工事の実施・測量、調査、設計 ほか	・工事の実施・測量、調査、設計 ほか	・工事の実施・測量、調査、設計 ほか
事業費	予算（現額）		546,959,000	601,957,500	577,419,800	516,381,478	351,000,000	401,900,000
	決算額		426,278,629	500,233,071	459,382,169	400,896,200	0	0
	財源内訳	国支出金	9,915,000	14,508,000	19,709,000	32,029,000	2,408,000	19,586,000
		県支出金	4,240,000	4,700,000	3,900,000	0	0	37,500,000
		地方債	179,200,000	13,800,000	0	38,300,000	2,100,000	17,600,000
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	232,923,629	467,225,071	435,773,169	330,567,200	346,492,000	327,214,000
人件費	従事職員数（人）		10.15	9.25	6.95	7.90	6.67	6.67
	人件費相当試算 ※1		78,956,850	71,983,500	56,329,750	64,274,400	54,267,120	54,267,120
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			505,235,479	572,216,571	515,711,919	465,170,600	405,267,120	456,167,120

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
□	活動指標１	生活道路整備要望数	目標値	件							■
			実績値		60.00	52.00	53.00	57.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		自治会からの要望のため、目標値は設定しない							
		当該年度の実績（発注済延長）									
■	活動指標２	道路改良工事施工延長（道路新設改良事業）	目標値	m	2,188.00	1,970.00	1,709.00	1,467.00	0.00	0.00	□
			実績値		2,177.20	2,076.89	2,045.30	1,676.30	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		予算から算出した工事延長。							
		当該年度の実績（発注済延長）									
□	活動指標３	舗装新設工事施工延長（道路新設改良事業）	目標値	m	2,320.00	3,135.30	1,440.00	780.00	0.00	0.00	□
			実績値		1,218.20	2,234.40	2,290.45	581.20	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		予算から算出した工事延長。							
		当該年度の実績									
□	成果指標１	整備要望への対応率	目標値	%							■
			実績値		65.00	65.00	64.00	28.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		整備要望数に左右されるため、目標値設定になじまない							
		新規着手箇所数及び舗装新設箇所									
■	成果指標２	生活道路改良率	目標値	%	33.63	33.97	34.31	34.65	34.99	35.33	□
			実績値		33.63	33.73	33.87	33.99	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		過去５年間の伸び率の平均値を加算							
		道路台帳（その他道路改良率）									
■	成果指標３	生活道路舗装率	目標値	%	68.52	69.02	69.52	70.02	70.52	71.02	□
			実績値		68.52	68.59	68.63	68.71	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		過去５年間の伸び率の平均値を加算							
		道路台帳（その他道路舗装率）									

4．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 ・道路改良工事施工延長については目標値を満たすことができた。 ・舗装新設工事施工延長については施工延長は目標値に達していないが、予定した箇所についてはすべて工事発注することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	C	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 生活道路改良率、生活道路舗装率ともに目標値の達成に至らなかった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	-	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	生活道路整備係長　佐藤真也

5．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	生活道路整備事業	担当課	道路河川課	担当係	生活道路整備係	管理番号	4139

- □ ① 現状のまま継続
- □ ② 見直して継続
- ■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

生活道路整備については、自治会からの要望が多く整備が追い付いていないのが現状となっており、令和２年度の整備要望への対応率については前年度に比較して大きく減少となった。また、生活道路改良率や舗装率については、目標値より実績値が低い状況が続いており、その差は年々大きくなっている。
このような状況を踏まえ、今後、少しでも多くの要望に応えていくため、事業を拡充して実施したい。

評価者	道路河川課長　今井吾郎

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

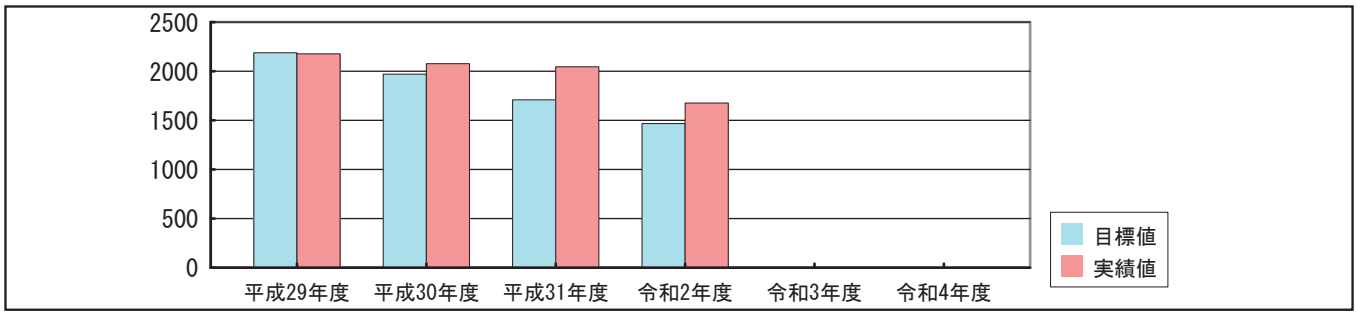
改善・改革案	・新規着手箇所数の増 ・道路改良工事において複数年度に渡って工事を実施する箇所の単年度工事延長の増 ・舗装新設工事延長の増

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

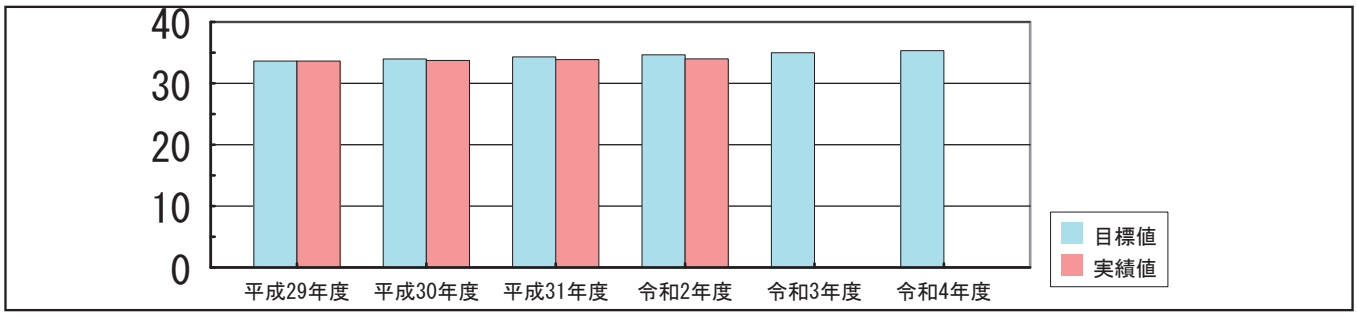
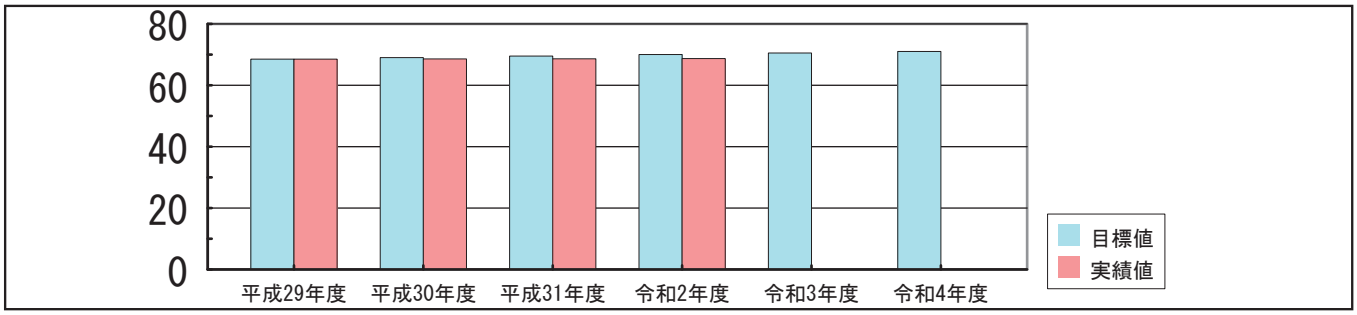
今後の課題	人件費や建設資材が高騰してきていることから、道路構造の検討を行い、建設コストを縮減していくとともに、新規着手箇所については必要性等の評価を適切に実施したうえで選定していく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標２	指標名	道路改良工事施工延長（道路新設改良事業）



区分	成果指標２	指標名	生活道路改良率



区分	成果指標３	指標名	生活道路舗装率